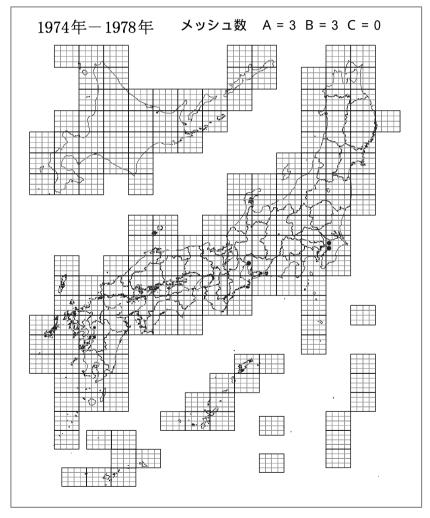
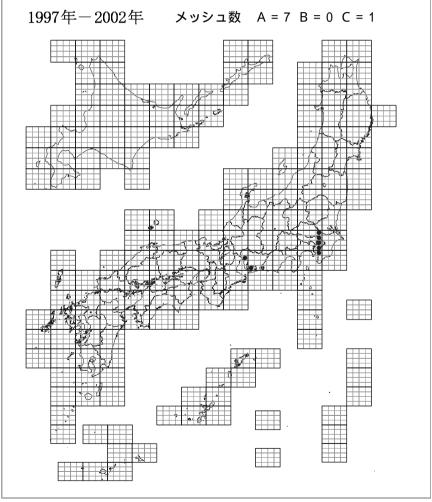
セイタカシギ

(分類) チドリ目シギ科 Himantopus himantopus

(環境省 RDB 種) -

- (分布) 東京湾岸などの沿岸部で局所的に繁殖。世界の温帯から熱帯に広く分布。
- (生態) 水際の地上に営巣する。4月頃より4卵を雌雄で22日前後抱卵する。ヒナはふ化後すぐに親について採食を始め、約4週間で飛べるようになる。浅い汽水域で昆虫、貝類、小魚などの小動物を食べる。



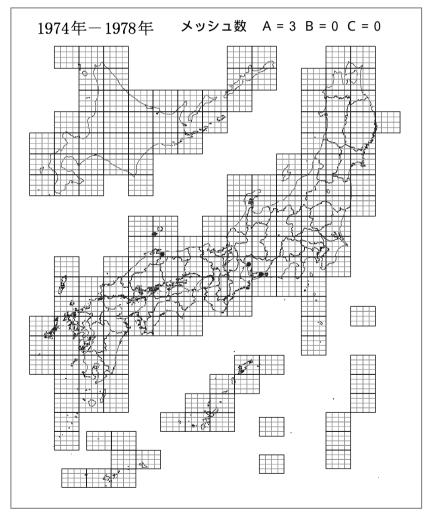


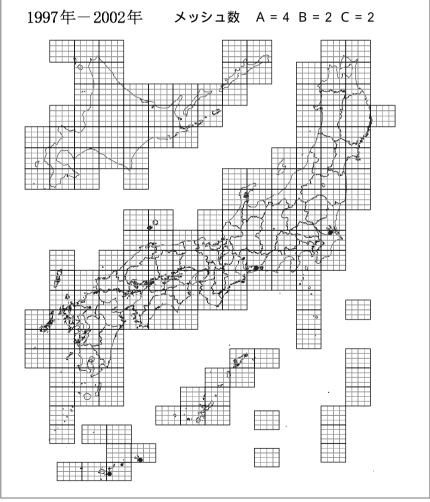
ツバメチドリ

(分類) チドリ目ツバメチドリ科 Glareola maldivarum

(環境省 RDB 種) 絶滅危惧 類

- (分布) おもに旅鳥。関東以南で局所的に繁殖。ユーラシア南東部で繁殖し、東南アジアやオーストラリアなどで越冬。
- (生態)集団で、裸地の地上に営巣する。4~5月から2~4卵を雌雄で約2週間抱卵する。ふ化後ヒナは親について歩くが、しばらくは親の給餌を受ける。おもに地上を走ったり、空中でツバメのように飛び回って昆虫類をとる。



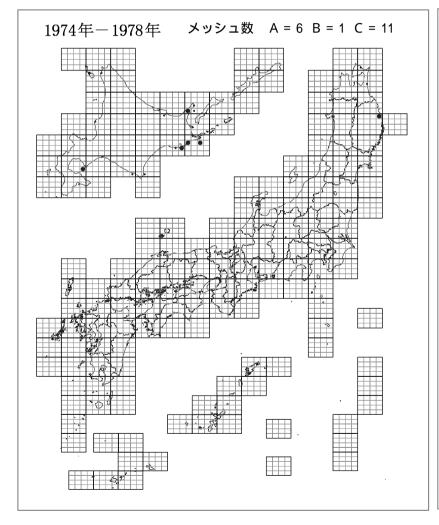


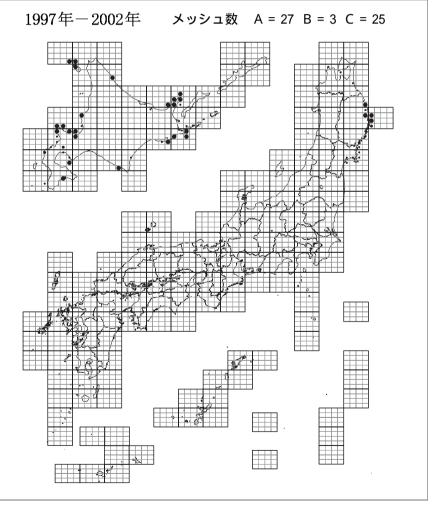
オオセグロカモメ

(分類) チドリ目カモメ科 Larus schistisagus

(環境省 RDB 種) -

- (分布) 東北地方から北海道の沿岸で繁殖。本州以南で冬鳥。ロシアや日本など極東沿岸域に分布。
- (生態) 海岸の岩礁や崖で集団営巣する。5月頃3卵を産み、6月頃ふ化し、8月頃巣立つ。おもに魚類、甲殻類などの小動物や鳥類の卵やヒナを捕食する。残滓も食べる。



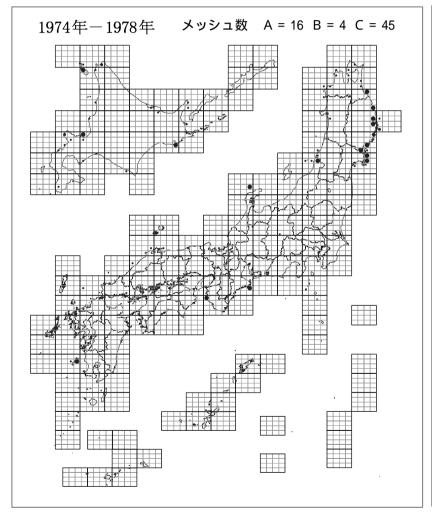


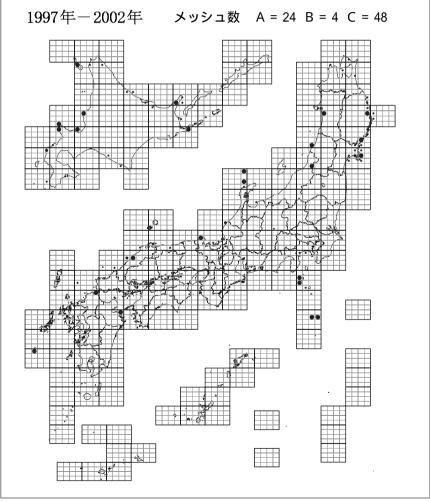
ウミネコ

(分類) チドリ目カモメ科 Larus crassirostris

(環境省 RDB 種) -

- (分布) 日本沿岸の島嶼で繁殖。日本海、オホーツク海、東シナ海だけに分布が限定される。
- (生態) 5月頃海岸の断崖などの急斜面に巣を設け、1~3卵を産む。雌雄で抱卵し、6月にふ化、36日前後で巣立つ。おもに小魚を捕る。繁殖つがいはおよそ10万と推定される。





オオアジサシ

(分類) チドリ目カモメ科 Thalasseus bergii

(環境省 RDB 種) 絶滅危惧 類

- (分布) 小笠原諸島と尖閣列島でこれまでに繁殖記録がある。インド洋から太平洋西部に広く分布する。
- (生態) 5月頃に海岸の砂礫浜や草地で営巣し、1 ~ 2 卵を産む。21 ~ 29 日程度抱卵し、39 日前後で巣立つ。おもに魚類、イカ、甲殻類を捕食する。小笠原西之島に約 100 ~ 150 つがい、尖閣列島北小島に約 370 ~ 380 つがいが生息するとされるが、詳細は不明。

